

2 主要業種の動向

(基準年の生産ウェイト上位9業種の動向(全18業種のウェイト計10,000))

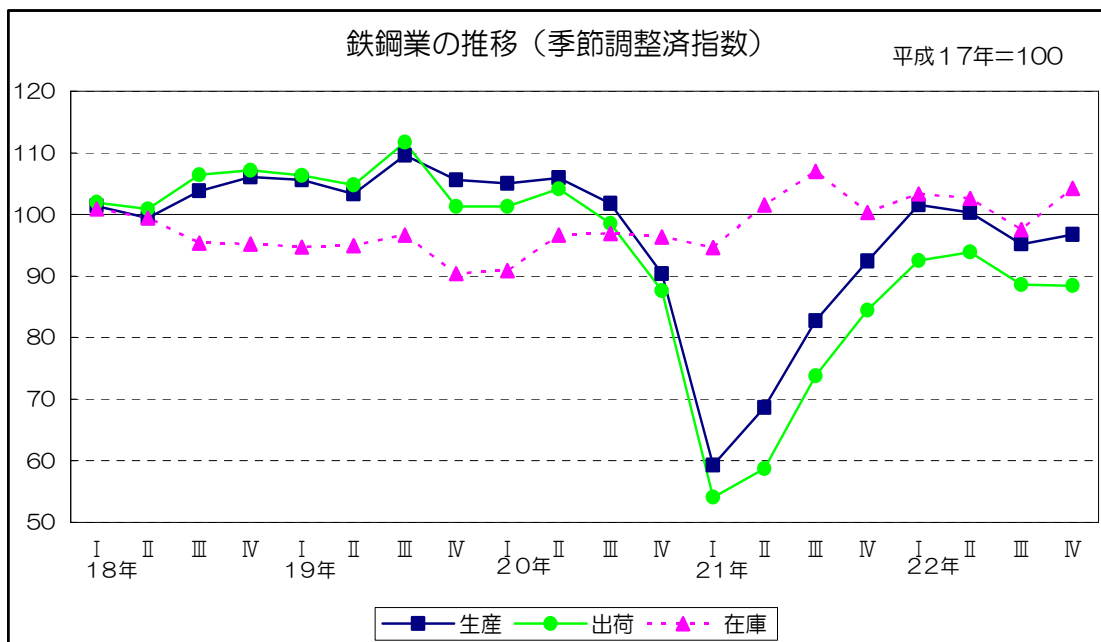
(1) 鉄鋼業

- ① 生産(付加価値額ウェイト1147.2 生産18業種中3位)
22年の生産は98.4で、前年比29.5%増と3年ぶりの上昇となった。
これは、形鋼、鋼矢板などは低下したが、特殊鋼熱間圧延鋼材、粗鋼などが上昇したことによる。
- ② 出荷(出荷額ウェイト1093.4 出荷18業種中3位)
22年の出荷は90.9で、同33.7%増と3年ぶりの上昇となった。
これは、形鋼、鋼矢板などは低下したが、特殊鋼熱間圧延鋼材、特殊鋼冷間仕上鋼材などが上昇したことによる。
- ③ 在庫(在庫額ウェイト1146.8 在庫18業種中3位)
22年の在庫は101.9で、同1.0%増と3年連続の上昇となった。
これは、鋼半製品、銑鉄などは低下したが、鋼帯、特殊鋼冷間仕上鋼材などが上昇したことによる。

鉄鋼業の推移(年は原指数、四半期は季節調整済指数)

平成17年=100

	18年	19年	20年	21年	22年	22年			
						I	II	III	IV
生産	102.6	105.9	100.8	76.0	98.4	101.5	100.3	95.2	96.7
前期(年)比	2.6	3.2	▲4.8	▲24.6	29.5	9.8	▲1.2	▲5.1	1.6
前年同期比	—	—	—	—	—	67.7	45.9	16.9	5.4
出荷	103.7	105.9	97.8	68.0	90.9	92.5	93.9	88.6	88.4
前期(年)比	3.7	2.1	▲7.6	▲30.5	33.7	9.6	1.5	▲5.6	▲0.2
前年同期比	—	—	—	—	—	68.7	56.1	21.9	6.9
在庫	97.8	94.0	95.2	100.9	101.9	103.3	102.6	97.5	104.2
前期(年)比	▲2.2	▲3.9	1.3	6.0	1.0	3.0	▲0.7	▲5.0	6.9
前年同期比	—	—	—	—	—	8.7	1.8	▲8.2	3.2



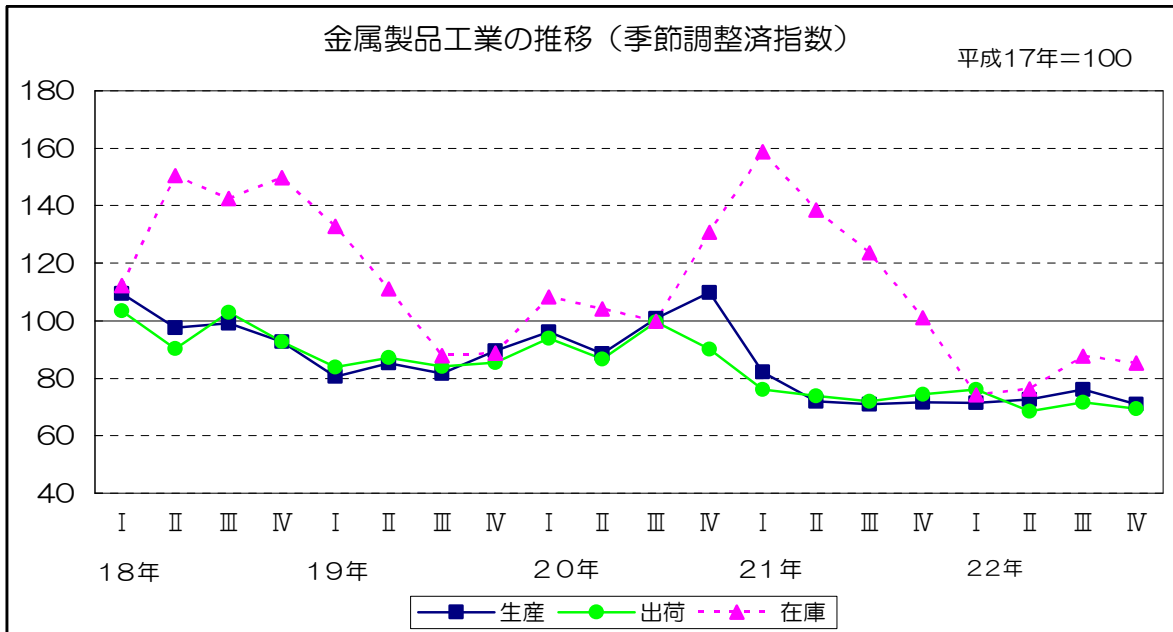
(2) 金属製品工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト631.2 生産18業種中6位）
22年の生産は72.7で、前年比▲2.2%減と2年連続の低下となった。
これは、ドラム缶、ガス湯沸器などは上昇したが、粉末冶金製品、鉄構物などが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト593.3 出荷18業種中7位）
22年の出荷は71.3で、同▲4.0%減と2年連続の低下となった。
これは、ドラム缶、金網などは上昇したが、鉄構物、鉄骨などが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト394.4 在庫18業種中9位）
22年の在庫は81.2で、同▲37.5%減と3年ぶりの低下となった。
これは、スチール又はステンレスシャッターは上昇したが、ガス湯沸器、ガス炊飯器などが低下したことによる。

金属製品工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成17年=100

	18年	19年	20年	21年	22年	I	II	III	IV
						前期（年）比	前期（年）比	前期（年）比	前期（年）比
生産	99.6	84.4	98.7	74.3	72.7	71.5	72.6	76.1	70.9
前期（年）比	▲0.4	▲15.3	16.9	▲24.7	▲2.2	▲0.3	1.5	4.8	▲6.8
前年同期比	—	—	—	—	—	▲12.1	▲0.8	8.1	▲1.5
出荷	97.5	85.3	92.6	74.3	71.3	76.1	68.6	71.6	69.4
前期（年）比	▲2.5	▲12.5	8.6	▲19.8	▲4.0	2.3	▲9.9	4.4	▲3.1
前年同期比	—	—	—	—	—	▲1.1	▲8.0	1.3	▲7.9
在庫	139.4	102.8	110.1	130.0	81.2	74.2	76.3	87.7	85.3
前期（年）比	39.4	▲26.3	7.1	18.1	▲37.5	▲26.5	2.8	14.9	▲2.7
前年同期比	—	—	—	—	—	▲53.2	▲45.1	▲29.6	▲14.6



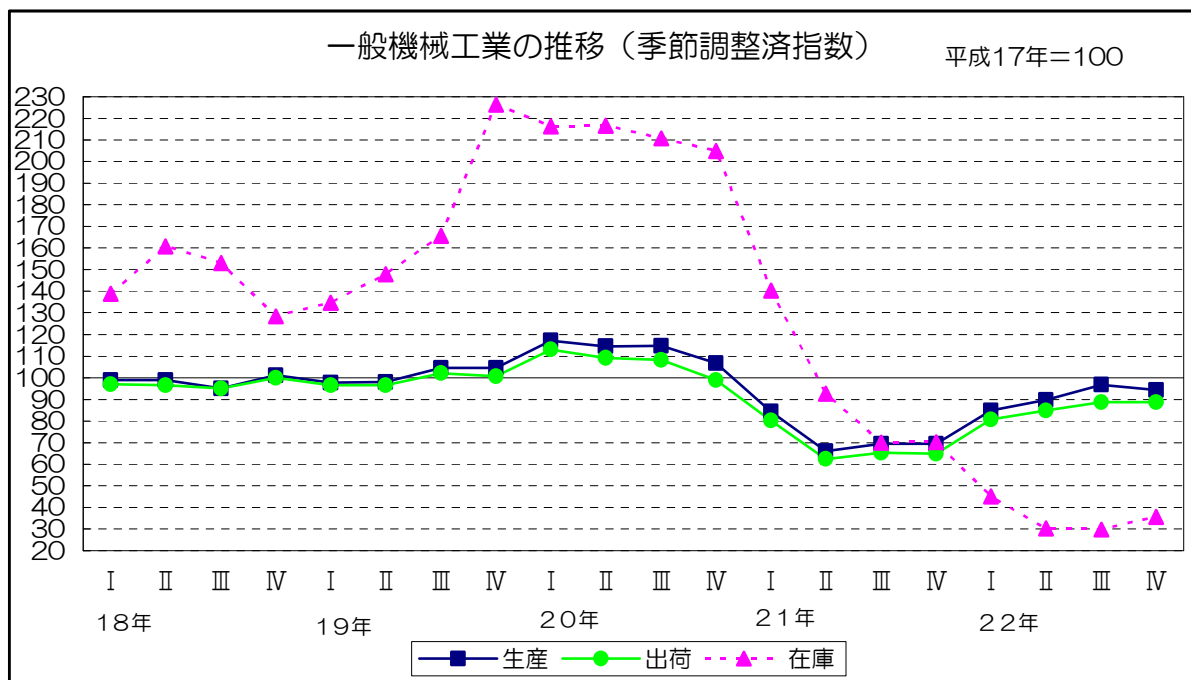
(3) 一般機械工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト904.5 生産18業種中4位）
22年の生産は91.5で、前年比25.9%増と2年ぶりの上昇となった。
これは、自動立体倉庫装置やクレーンなどは低下したが、産業用ロボット、
半導体製造装置などが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト790.3 出荷18業種中4位）
22年の出荷は85.7で、同25.1%増と2年ぶりの上昇となった。
これは、自動立体倉庫装置、クレーンなどは低下したが、産業用ロボット、
半導体製造装置などが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト610.8 在庫18業種中7位）
22年の在庫は35.0で、同▲62.1%減と2年連続の低下となった。
これは、シヨベル系掘削機（油圧式）などが低下したことによる。

一般機械工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成17年=100

	18年	19年	20年	21年	22年	四半期			
						I	II	III	IV
生産	98.3	101.2	113.7	72.7	91.5	84.9	89.7	96.7	94.4
前期（年）比	▲1.7	3.0	12.4	▲36.1	25.9	22.2	5.7	7.8	▲2.4
前年同期比	—	—	—	—	—	2.5	33.4	39.9	35.1
出荷	96.8	99.1	107.8	68.5	85.7	80.6	84.8	88.7	88.8
前期（年）比	▲3.2	2.4	8.8	▲36.5	25.1	24.4	5.2	4.6	0.1
前年同期比	—	—	—	—	—	2.1	33.9	36.8	35.2
在庫	146.2	166.7	212.3	92.4	35.0	45.2	30.2	29.7	35.5
前期（年）比	46.2	14.0	27.4	▲56.5	▲62.1	▲35.7	▲33.2	▲1.7	19.5
前年同期比	—	—	—	—	—	▲68.5	▲68.9	▲58.6	▲44.1



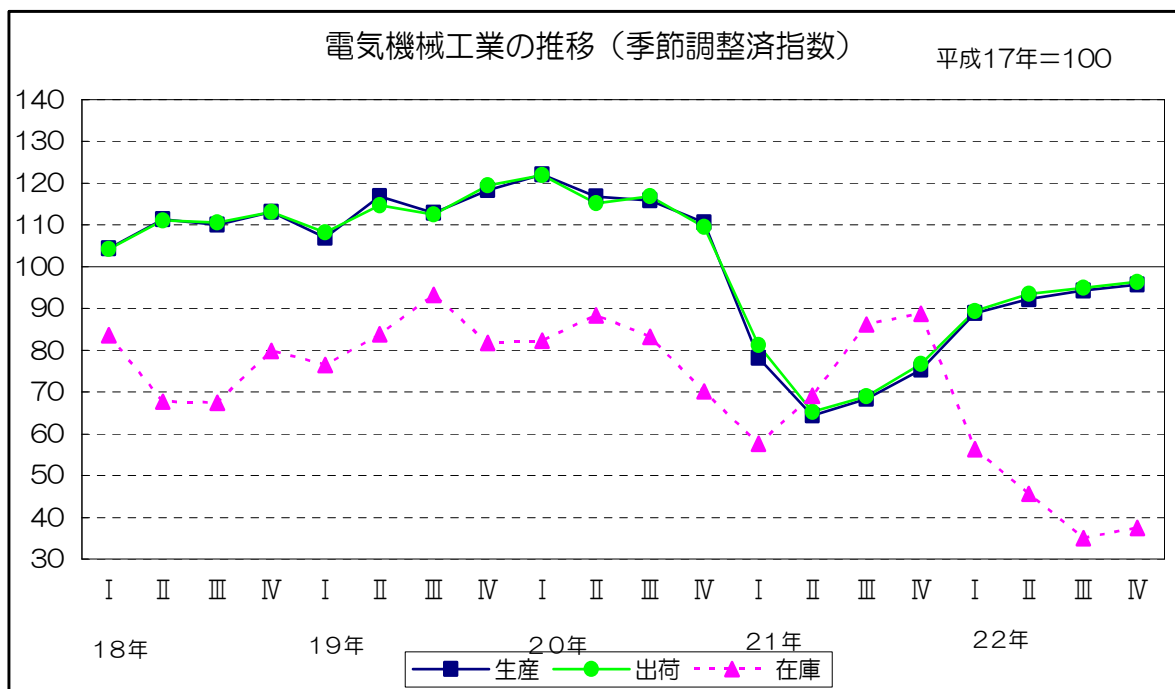
(4) 電気機械工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト370.3 生産18業種中9位）
22年の生産は93.0で、前年比29.5%増と2年ぶりの上昇となった。
これは、電力量計、電気温水器などは低下したが、電力変換装置、サーボモータなどが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト399.7 出荷18業種中9位）
22年の出荷は93.7で、同27.7%増と2年ぶりの上昇となった。
これは、変圧器、電気温水器などは低下したが、電力変換装置、サーボモータなどが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト702.6 在庫18業種中6位）
22年の在庫は43.3で、同▲43.3%減と3年連続の低下となった。
これは、電力量計、電気温水器などが低下したことによる。

電気機械工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成17年=100

	18年	19年	20年	21年	22年	四半期			
						I	II	III	IV
生産	109.3	113.6	116.3	71.8	93.0	88.9	92.2	94.3	95.7
前期（年）比	9.3	3.9	2.4	▲38.3	29.5	18.1	3.7	2.3	1.5
前年同期比	—	—	—	—	—	15.8	40.8	37.5	28.1
出荷	109.2	113.5	115.9	73.4	93.7	89.4	93.5	95.0	96.3
前期（年）比	9.2	3.9	2.1	▲36.7	27.7	16.6	4.6	1.6	1.4
前年同期比	—	—	—	—	—	13.6	39.9	36.7	25.7
在庫	75.5	83.6	80.2	76.3	43.3	56.3	45.6	35.0	37.5
前期（年）比	▲24.5	10.7	▲4.1	▲4.9	▲43.3	▲36.5	▲19.0	▲23.2	7.1
前年同期比	—	—	—	—	—	▲5.9	▲36.9	▲58.8	▲55.5



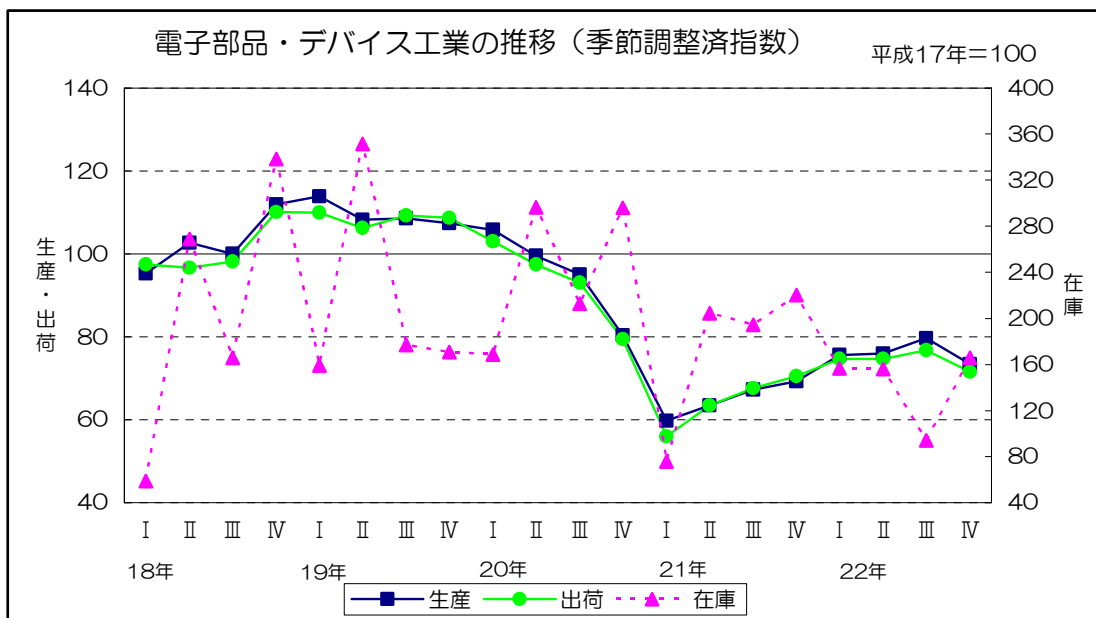
(5) 電子部品・デバイス工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト553.5 生産18業種中8位）
22年の生産は76.1で、前年比16.9%増と3年ぶりの上昇となった。
これは、計数回路などは低下したが、混成集積回路、光電変換素子などが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト612.8 出荷18業種中6位）
22年の出荷は74.5で、同15.5%増と3年ぶりの上昇となった。
これは、計数回路などは低下したが、混成集積回路、光電変換素子などが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト139.5 在庫18業種中15位）
22年の在庫は143.1で、同▲17.6%減と2年連続の低下となった。
これは、線形回路は上昇したが、計数回路が低下したことによる。

電子・デバイス工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成17年=100

	18年	19年	20年	21年	22年	22年			
						I	II	III	IV
生産	102.4	109.4	95.0	65.1	76.1	75.6	76.0	79.6	73.4
前期(年)比	2.4	6.8	▲13.2	▲31.5	16.9	9.1	0.5	4.7	▲7.8
前年同期比	—	—	—	—	—	26.2	18.3	20.2	5.4
出荷	100.4	108.6	93.2	64.5	74.5	74.7	74.7	76.8	71.6
前期(年)比	0.4	8.2	▲14.2	▲30.8	15.5	6.0	0.0	2.8	▲6.8
前年同期比	—	—	—	—	—	32.8	16.5	15.9	1.5
在庫	207.9	214.5	243.5	173.7	143.1	156.5	156.1	94.0	165.7
前期(年)比	107.9	3.2	13.5	▲28.7	▲17.6	▲28.9	▲0.3	▲39.8	76.3
前年同期比	—	—	—	—	—	106.5	▲23.7	▲51.6	▲24.7



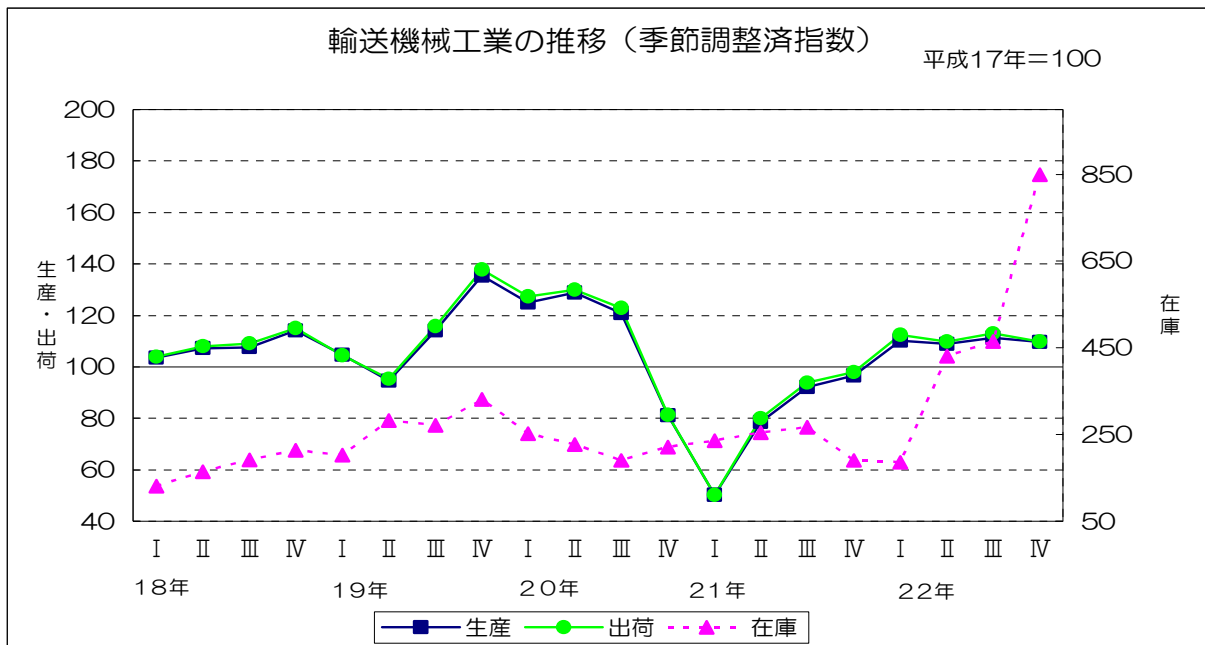
(6) 輸送機械工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト2157.9 生産18業種中1位）
22年の生産は109.8で、前年比37.9%増と2年ぶりの上昇となった。
これは、自動車車体などは低下したが、普通自動車、自動車部品などが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト2789.1 出荷18業種中1位）
22年の出荷は111.0で、同37.5%増と2年ぶりの上昇となった。
これは、自動車車体などは低下したが、普通自動車、自動車部品などが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト1128.2 在庫18業種中4位）
22年の在庫は487.7で、同105.3%増と2年連続の上昇となった。
これは、普通自動車、小型自動車が増加したことによる。

輸送機械工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成17年=100

	18年	19年	20年	21年	22年	四半期			
						I	II	III	IV
生産	107.4	112.3	113.4	79.6	109.8	110.3	108.9	111.3	109.7
前期(年)比	7.4	4.6	1.0	▲29.8	37.9	14.1	▲1.3	2.2	▲1.4
前年同期比	—	—	—	—	—	117.3	37.9	24.9	11.3
出荷	108.2	113.4	114.8	80.7	111.0	112.5	109.8	113.0	109.8
前期(年)比	8.2	4.8	1.2	▲29.7	37.5	14.8	▲2.4	2.9	▲2.8
前年同期比	—	—	—	—	—	121.9	36.3	25.5	9.6
在庫	174.4	267.8	218.4	237.6	487.7	185.6	430.0	464.5	849.2
前期(年)比	74.4	53.6	▲18.4	8.8	105.3	▲2.5	131.7	8.0	82.8
前年同期比	—	—	—	—	—	▲27.4	89.0	78.4	328.9



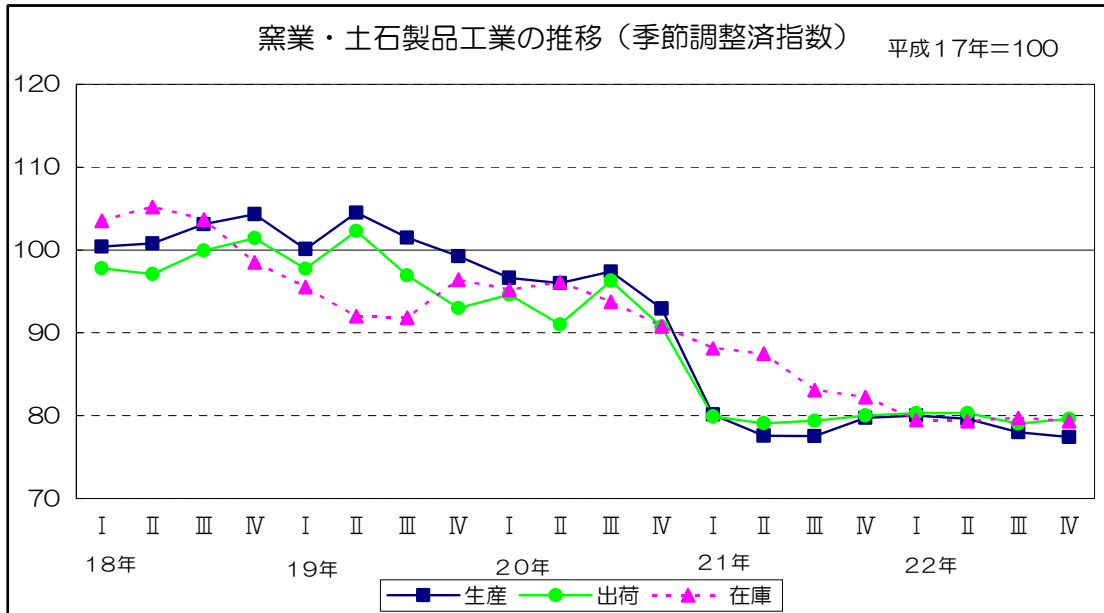
(7) 窯業・土石製品工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト592.6 生産18業種中7位）
22年の生産は78.7で、前年比変わらずとなった。
耐火れんが、ガラス短繊維などが上昇し、安全ガラス複層ガラス、道路用
コンクリート製品などが低下した。
- ② 出荷（出荷額ウェイト497.1 出荷18業種中8位）
22年の出荷は79.8で、同0.3%増と5年ぶりの上昇となった。
これは、安全ガラス複層ガラス、道路用コンクリート製品などは低下したが
耐火れんが、ほうろう鉄器などが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト811.8 在庫18業種中5位）
22年の在庫は79.5で、同▲6.6%減と2年連続の低下となった。
これは、気泡コンクリート製品、ガラス短繊維などは上昇したが、道路用コン
クリート製品、安全ガラス複層ガラスなどが低下したことによる。

窯業・土石製品工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成17年=100

	18年	19年	20年	21年	22年	22年			
						I	II	III	IV
生産	102.5	101.2	95.7	78.7	78.7	80.0	79.6	78.0	77.4
前期(年)比	2.5	▲1.3	▲5.4	▲17.8	0.0	0.4	▲0.5	▲2.0	▲0.8
前年同期比	—	—	—	—	—	▲0.9	2.2	0.9	▲2.0
出荷	99.2	97.4	93.1	79.6	79.8	80.3	80.3	79.0	79.6
前期(年)比	▲0.8	▲1.8	▲4.4	▲14.5	0.3	0.4	0.0	▲1.6	0.8
前年同期比	—	—	—	—	—	0.1	0.8	0.0	0.2
在庫	102.7	93.8	93.9	85.1	79.5	79.5	79.3	79.7	79.3
前期(年)比	2.7	▲8.7	0.1	▲9.4	▲6.6	▲3.3	▲0.3	0.5	▲0.5
前年同期比	—	—	—	—	—	▲10.1	▲9.4	▲3.9	▲3.2



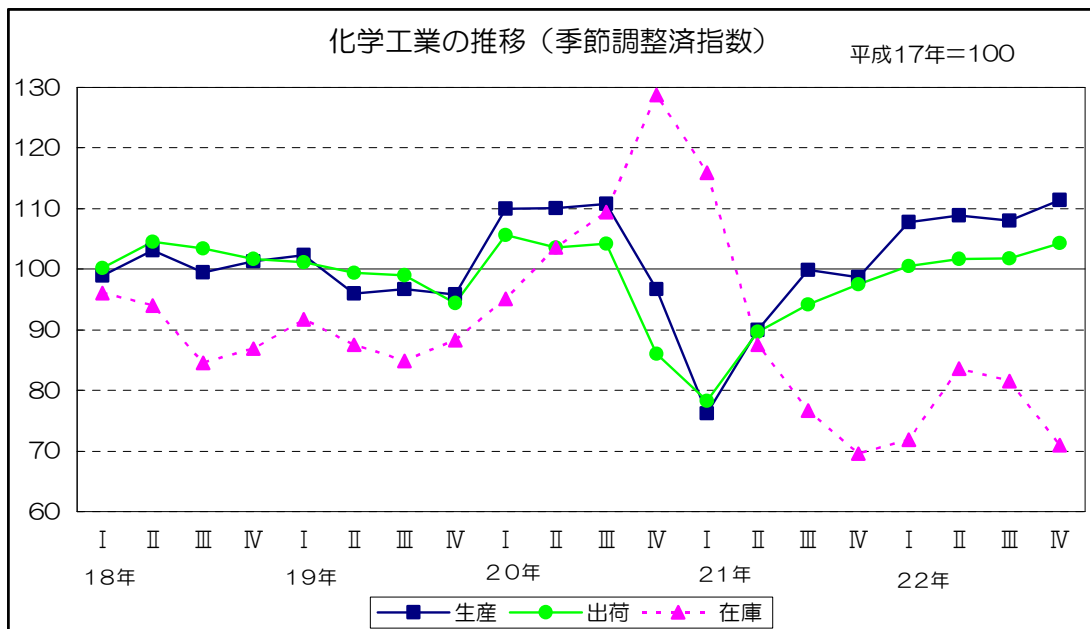
(8) 化学工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト886.8 生産18業種中5位）
22年の生産は109.0で、前年比19.5%増と2年ぶりの上昇となった。
これは、カプロラクタム、ポリアミド系樹脂成形材料などは低下したが、
ビスフェノールA、医薬品などが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト641.6 出荷18業種中5位）
22年の出荷は102.0で、同13.3%増と2年ぶりの上昇となった。
これは、カプロラクタム、ポリアミド系樹脂成形材料などは低下したが、ポリカー
ボネート、医薬品などが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト1824.3 在庫18業種中1位）
22年の在庫は76.8で、同▲12.7%減と2年連続の低下となった。
これは、ポリカーボネートなどは上昇したが、ビスフェノールA、ポリアミド系樹脂
成形材料などが低下したことによる。

化学工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成17年=100

	18年	19年	20年	21年	22年	I	II	III	IV
						前期(年)比	前期(年)比	前期(年)比	前期(年)比
生産	100.6	97.8	106.8	91.2	109.0	107.8	108.9	108.0	111.4
前期(年)比	0.6	▲2.8	9.2	▲14.6	19.5	9.2	1.0	▲0.8	3.1
前年同期比	—	—	—	—	—	39.7	21.4	10.4	11.8
出荷	102.0	98.6	99.8	90.0	102.0	100.5	101.7	101.8	104.3
前期(年)比	2.0	▲3.3	1.2	▲9.8	13.3	3.1	1.2	0.1	2.5
前年同期比	—	—	—	—	—	25.4	15.0	9.3	6.3
在庫	90.5	87.9	109.0	88.0	76.8	71.9	83.6	81.5	71.0
前期(年)比	▲9.5	▲2.9	24.0	▲19.3	▲12.7	3.3	16.3	▲2.5	▲12.9
前年同期比	—	—	—	—	—	▲37.6	▲3.6	4.7	1.7



(9) 食料品・たばこ工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト1452.7 生産18業種中2位）
22年の生産は91.8で、前年比▲2.8%減と4年連続の低下となった。
これは、めん類、パンなどは上昇したが、菓子、冷凍調理食品などが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト1467.5 出荷18業種中2位）
22年の出荷は88.4で、前年比▲3.1%減と3年ぶりの低下となった。
これは、植物油脂、めん類などは上昇したが、菓子、発泡酒などが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト1400.5 在庫18業種中2位）
22年の在庫は101.4で、同▲3.0%減と2年ぶりの低下となった。
これは、砂糖、のりなどは上昇したが、焼酎、ビールなどが低下したことによる。

食料品・たばこ工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成17年=100

	18年	19年	20年	21年	22年	22年			
						I	II	III	IV
生産	101.6	95.6	95.1	94.4	91.8	97.1	95.8	99.7	75.1
前期(年)比	1.6	▲5.9	▲0.5	▲0.7	▲2.8	3.7	▲1.3	4.1	▲24.7
前年同期比	—	—	—	—	—	2.7	1.7	6.9	▲21.6
出荷	100.9	90.5	90.5	91.2	88.4	95.8	92.7	96.9	68.7
前期(年)比	0.9	▲10.3	0.0	0.8	▲3.1	4.5	▲3.2	4.5	▲29.1
前年同期比	—	—	—	—	—	4.8	2.8	7.4	▲25.8
在庫	105.0	105.7	103.8	104.5	101.4	104.4	101.9	101.2	98.4
前期(年)比	5.0	0.7	▲1.8	0.7	▲3.0	3.1	▲2.4	▲0.7	▲2.8
前年同期比	—	—	—	—	—	▲1.4	▲3.7	▲2.6	▲4.1

